
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第71号

2011/11/24配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成23年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

ご連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 11/16～11/24までの更新情報 -----

●製品評価技術基盤機構(NITE)

【2011/11/18】

- ・「CHRIP、リスク評価パンフレットの英語化」のご案内

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/info/info20111118.html>

以下の英文パンフレットを公開しました。

- ・化学物質総合情報提供システム(CHRIP)
- ・化学物質と上手に付き合うために-化学物質のリスク評価-
- ・化学物質のリスク評価について-よりよく理解するために-

これらは、国際的なセミナー等での配布利用等のほか、事業者の方々の海外活動における参考資料としてご活用いただけます。

●経済産業省

【2011/11/16】

- ・「製品含有化学物質の情報伝達の実態調査」アンケート調査説明会について

→ http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/other/H23fySCseminar.html

我が国におけるサプライチェーンの各段階(川上、川中、川下)、特に中小企業における化学物質の情報伝達における負担感を把握するためにアンケート調査が実施される。また、アンケート調査説明会が全国8箇所で開催される。

【2011/11/21】

・国際化学物質管理会議(ICCM)に関する公開作業部会(OEWG)第1回会合の結果について

→ <http://www.meti.go.jp/press/2011/11/20111121001/20111121001.html>

11月15日から11月19日までセルビア(ベオグラード)において開催された標記会合の結果が公表された。議題は、

(1)「新規の課題」等

- ・ナノテクノロジー及び工業ナノ材料
- ・電気電子製品のライフサイクルにおける有害物質
- ・製品中の化学物質
- ・塗料中の鉛
- ・ペルフルオロ化合物(PFC)の管理と安全な代替物質への移行

(2)新たな「新規の課題」の提案

- ・内分泌かく乱物質
 - ・環境残留性の高い医薬品汚染物質
- など。

●厚生労働省

【2011/11/16】

・平成23年度 第1回化学物質の健康障害防止措置に係る検討会 議事録

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001vd00.html>

10月11日に開催された標記会合の議事録が掲載された。議題は、平成22年度リスク評価対象物質の健康障害防止措置の検討について、など。

【2011/11/16】

・平成23年度 第1回化学物質の健康障害防止措置に係る検討会 配布資料

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001v04g.html>

10月11日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、平成22年度リスク評価対象物質の健康障害防止措置の検討について、など。

【2011/11/16】

・平成23年度 第2回化学物質の健康障害防止措置に係る検討会 配布資料

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001v0r8.html>

10月25日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、

(1)関係事業者団体からのヒアリング

(2)平成22年度リスク評価対象物質の健康障害防止措置の検討について
など。

【2011/11/16】

・平成23年度 第3回化学物質の健康障害防止措置に係る検討会 配布資料

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001v2f4.html>

11月18日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、平成22年度リスク評価対象物質の健康障害防止措置の検討について、など。

【2011/11/17】

・平成23年11月2日薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会添加物部会 配布資料

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001v8uj.html>

11月2日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、
(1) (3-アミノ-3-カルボキシプロピル)ジメチルスルホニウム塩化物の新規指定の可否について
(2) 2-エチル-6-メチルピラジンの新規指定の可否について
(3) トリメチルアミンの新規指定の可否について
(4) trans-2-メチル-2-ブテナールの新規指定の可否について
(5) サッカリンカルシウムの新規指定の可否について
など。

【2011/11/21】

・平成23年度第1回化学物質のリスク評価検討会 配布資料

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001v7ee.html>

10月11日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、
(1) 「ナノマテリアルのリスク評価の方針」に係る検討方法について
(2) ナノマテリアルのリスク評価における主要な課題について
(3) リスク評価の対象とするナノマテリアルの候補選定の基準について
(4) その他(今後の検討項目について)
など。

【2011/11/21】

・平成23年度第2回化学物質のリスク評価検討会 配布資料

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001v897.html>

10月27日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、
(1)ナノマテリアルのリスク評価手法における留意点等について
(2)リスク評価の対象とするナノマテリアルの候補の選定について
など。

【2011/11/21】

・平成23年度化学物質のリスク評価検討会(第1回有害性評価小検討会) 配布資料

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001sely.html>

10月18日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、

(1)がん原性試験結果の評価について

- ・ジフェニルアミン(経口)
- ・2-アミノエタノール(経口)
- ・アクリル酸(吸入)

(2)国が行う生殖毒性試験の対象物質の選定について

- ・リスク評価における生殖毒性試験の位置付け
- ・試験の対象物質の選定基準
- ・対象物質の選定

など。

【2011/11/21】

・平成23年度 第3回化学物質のリスク評価検討会の開催について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001v4eu.html>

11月30日に標記会合が開催される。議題は、職場における健康障害防止のためのナノマテリアルのリスク評価について、など。

【2011/11/21】

・平成23年度 第4回化学物質の健康障害防止措置に係る検討会の開催について

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001vtuc.html>

11月28日に標記会合が開催される。議題は、平成22年度リスク評価対象物質の健康障害防止措置の検討について、など。

【2011/11/15】

・中央環境審議会環境保健部会(第25回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14435>

11月28日に標記会合が開催される。議題は、

(1)環境基本計画の見直しについて(重点分野「包括的な化学物質対策の確立と推進のための取組」)

(2)公害健康被害の補償等に関する法律の規定による「障害補償標準給付基礎月額」及び「遺族補償標準給付基礎月額」の改定について(諮問)など。

【2011/11/16】

・環境経済情報ポータルサイトを更新しました

・環境経済情報ポータルサイト

→ http://www.env.go.jp/policy/keizai_portal/

・環境経済の調査・研究情報

→ http://www.env.go.jp/policy/keizai_portal/F_research/index.html

標記サイトに「環境経済の調査・研究情報」ページが追加された。「環境経営時代における環境政策と企業行動(有害化学物質管理等)の関係に関する研究」等が紹介されている。

【2011/11/17】

・「中国第12次5ヵ年計画環境分野の重点解説と日中水環境協力の総括に関するセミナー」の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14444>

12月12日に標記会合が開催される。議題は、

(1)日中水環境協力の総括

(2)第12次5ヵ年計画の環境分野の重点解説

など。

【2011/11/18】

・被災地の地下水質のモニタリング調査における有害物質濃度の測定結果(第4報)について

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14456>

東日本大震災を受け、宮城県及び福島県内の地下水について緊急的に有害物質(鉛、ひ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素等9項目)の水質モニタリング調査が実施され、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素について3地点(福島県)で、地下水の環境基準値を上回る値が見られたが、他の地点及び他の項目は環境基準値以下だった。

【2011/11/18】

・東日本大震災の被災地におけるアスベスト大気濃度調査(第3次モニタリング)におけるアスベスト飛散事例について

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14455>

東日本大震災の被災地におけるアスベスト大気濃度調査が実施され、建築物のアスベスト除去工事における集じん・排気装置の不具合によりと思われるアスベストの飛散が確認されたが、通常の一般大気濃度よりやや高めのアスベスト繊維数濃度が確認されたにとどまり、周辺環境への影響はなかったと考えられる。

【2011/11/21】

・地下水汚染未然防止のための構造と点検・管理に関する検討会(第7回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14457>

11月29日に標記会合が開催される。議題は、指針及びマニュアル(素案)について、など。

【2011/11/21】

・環境経済情報ポータルサイトを更新しました

→ http://www.env.go.jp/policy/keizai_portal/B_industry/b03.html

企業の環境ビジネスに対する認識や企業の供給する環境配慮型製品・サービスの業況等に関する調査として、「環境経済観測調査」(環境短観)が実施されている。提出期限は12月22日。

●内閣府食品安全委員会

【2011/11/15】

・「食品安全関係情報」を更新しました

→

http://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?keyword=%EF%BC%AC%EF%BC%A4%EF%BC%95%EF%BC%90&query=&logic=and&calendar=japanese&year=&from=struct&from_year=2011&from_month=10&from_day=22&to=struct&to_year=2011&to_month=11&to_day=4&areaId=00&countryId=000&informationSourceId=0000&max=100&sort_order=date.desc

最新2週間(10月22日～11月4日)の海外情報が更新された。

【2011/11/16】

- ・「農薬専門調査会幹事会(第78回)の会合結果」を掲載

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20111115no1>

11月15日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、

- (1)農薬(トリフルラリン)の食品健康影響評価について
 - (2)農薬(キノメチオナート)の食品健康影響評価について調査審議する評価部会の指定について
- など。

【2011/11/17】

- ・「食品安全委員会(第407回)の会合結果」を掲載

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20111117sfc>

11月17日に開催された標記会合の配布資料が掲載された。議題は、

- (1)食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見について
 - ・農薬「フラメトピル」に係る食品健康影響評価について
 - (2)食品安全関係情報(10月22日～11月4日収集分)について
- など。

【2011/11/17】

- ・「リスク評価:農薬「フラメトピル」の通知文書」を掲載

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/attachedFile/download?retrievalId=kya20090120007&fileId=201>

フラメトピルに係る食品健康影響評価の結果から一日許容摂取量0.007mg/kg/日が設定され、食品安全基本法(平成15年法律第48号)第23条第2項の規定に基づき通知された。

【2011/11/18】

- ・国立環境研究所ニュース30巻4号を掲載しました
- <http://www.nies.go.jp/kanko/news/index.html>

標記資料が掲載された。内容は、「国際的な流れを意識して、製品中の資源性・有害性物質の適正な管理をめざす」、「アスベスト含有廃棄物の無害化処理の評価について」など。

●国立医薬品食品衛生研究所

【2011/11/16】

- ・食品安全情報(化学物質) No. 23 (2011. 11. 16)
- <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2011/foodinfo201123c.pdf>

標記資料が掲載された。食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報が紹介されている。

●東京都環境局

【2011/11/21】

- ・「東日本大震災を踏まえた今後の環境政策のあり方について(中間とりまとめ)」に対する意見募集
- <http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2011/11/221b1400.htm>
- ・東日本大震災を踏まえた今後の環境政策のあり方について(中間とりまとめ)
- http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/basic/conference/council/public_comment/index.html

11月21日から12月20日までの間、標記の意見募集が行われる。

●経済協力開発機構(OECD)

【2011/11/08】

- ・New Consensus Document on Compositional Considerations for New Varieties of Sugarcane (*Saccharum* ssp. hybrids)
- <http://www.oecd.org/dataoecd/38/4/48962816.pdf>

OECDは、新品種のサトウキビ(*Saccharum* ssp. hybrids)の成分(栄養素、反栄養素、有害物質)に関する合意文書を公表した。

【2011/11/14】

・ 3593 J-CHECK endpoints can now be searched in eChemPortal

→ http://www.oecd.org/topic/0,3699,en_2649_34365_1_1_1_1_37465,00.html

・ J-CHECKについて

→

<http://www.echemportal.org/echemportal/participant/participantinfo.action?participantID=60&pageID=2>

・ eChemPortal

→ http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

OECDは、eChemPortalにおいて日本の化審法データベース(J-CHECK)の性状データ(3593件)を検索可能にしたことを公表した。

●日本工業標準調査会

【2011/11/21】

・ 排水・用水処理用オゾン処理装置に関するJISを制定

→ http://www.jisc.go.jp/newstopics/2011/20111121_ozone.htm

オゾンが脱色・脱臭処理、微量有害物質の分解や消毒処理に有効であることから、排水・用水の処理をする分野において、現状の利用における利便性を考慮しつつ適切で安全な普及が進むよう、オゾン処理装置の仕様項目とオゾン濃度測定方法が規格化された。

●海外環境協力センター

【2011/11/17】

・ 中国環境情報10月号を掲載しました。

→ <http://www.oecc.or.jp/contents/china/index.html>

標記資料が掲載された。内容は、国(国務院、環境保護部における)の環境政策の動き、地方(地方政府等における)の環境情報、など。

●欧州化学品庁(ECHA)

【2011/11/15】

・ Part B of the IR & CSA Guidance - Hazard Assessment now available in 22 EU languages

→

http://guidance.echa.europa.eu/docs/guidance_document/information_requirements_en.htm?time=1321900863

ECHAは、情報要件及び化学物質安全性評価に関するガイダンスのパートB:ハザード評価を22ヶ国語で公開した。

【2011/11/17】

・ ECHA calls for information to avoid unnecessary animal testing

→

http://echa.europa.eu/consultations/test_proposals/test_prop_cons_en.asp?consultations_status=current

ECHAは、不必要な動物試験を回避するため、イソチオシアン酸メチルなど4物質に関する情報の提出を要請した。提出期限は2012年1月2日。

【2011/11/18】

・ Second draft revised Guidance on the Application of the CLP Criteria (Introduction and Environment chapters) sent to RAC and Forum

→

http://guidance.echa.europa.eu/docs/draft_documents/CLP_ENV_Complete_and_HH_Introduction Consolidated_PEG_final_clean.pdf

ECHAは、CLP規則のクライテリア適用に関する手引をリスクアセスメント専門委員会(RAC)及びForumに送付した。

●US EPA

【2011/11/16】

・ US EPA extends comment period on toxicological review of n-butanol

→

<http://www.federalregister.gov/articles/2011/11/16/2011-29650/draft-toxicological-review-of-n-butanol-in-support-of-summary-information-on-the-integrated-risk>

米国EPAは、IRISにおいてn-ブタノールの毒性評価を取りまとめ、募っていたパブリックコメントの提出期限を12月7日に延長した。

【2011/11/18】

- ・ US EPA extends comment period on vanadium pentoxide

→ <http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/FR-2011-11-09/html/2011-29067.htm>

米国EPAは、IRISにおいて五酸化バナジウムの毒性評価を取りまとめ、募っていたパブリックコメントの提出期限を12月8日に延長した。

【2011/11/18】

- ・ US EPA requests information on nanosilver discharge from industry

→

<http://www.federalregister.gov/articles/2011/10/26/2011-27742/notice-of-final-2010-effluent-guidelines-program-plan>

- ・ 2010 Effluent Guidelines Program Plan

→ <http://water.epa.gov/lawsregs/lawguidance/cwa/304m/index.cfm>

米国EPAは、排水ガイドライン計画2010(最終版)を発表し、本計画の次年度における見直しのため、ナノ銀を始めとする化学物質の事業所からの排出に関する情報を求めている。

●化学物質国際対応ネットワーク

【2011/11/15】

- ・ 「2010年REACH登録の教訓と2013/2018年登録に向けた効果的な対策に関するセミナー」の講演資料を掲載しました。

→ <http://www.chemical-net.info/seminar.html#sem3>

10月26日に開催された標記会合の講演資料が掲載された。タイトルは、「REACHとCLP/EUにおける化学物質管理の新たな展開」、「REACH規則に関する最新動向と課題」、「CLP規則に関する最新動向と課題」など。

【2011/11/18】

- ・ メルマガ38号をバックナンバーに掲載しました。

- ・ 第38号

→ http://www.chemical-net.info/mag/mag_bn38.html

- ・ 第38号[附録]

→ http://www.chemical-net.info/mag/mag_bn38_furoku.html

標記資料が掲載された。内容は、

(1) 海外化学物質管理事情

- ・従来の韓国化学物質管理制度
- ・韓国化学物質の登録及び評価に関する法律(案)

(2) 欧州化学物質管理の最新動向

- ・無効な予備登録化学物質の削除
- ・4種のフタル酸エステルに対するパブリックコンサルテーション
- ・第一段階登録で登録予定であった物質が実際には登録されなかった理由

(3) 中国の環境関連動向

- ・新化学物質登録における標識情報に関する技術要求(試行)を発表
- ・上海市において危険化学品企業の配置分布を調整

など。

●EICネット

【2011/11/16】

- ・国連環境計画、世界人口70億人突破を機に、経済・環境等、過去20年の地球上の変遷をまとめた包括的報告書を発表

→ <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=26104&oversea=1>

国連環境計画(UNEP)は、1992年のリオ・サミット以降20年間における地球上の様々な変遷を広範な統計データを基にまとめた包括的な報告書を発表した。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

- ・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- ・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

- 発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター
- 記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境・資源エネルギー部 環境リスクチーム